

ブラジル物語—4

ここで、ブラジルの優良樹種、そして究極の耐久材イペについて、生い立ちからさかのぼってご紹介する。

2. 森林

①アマゾン森林地帯 5カ国 約500万平方キロ

②蓄積量 世界の宝庫としての、木材資源は豊富で、FAO資料によれば、蓄積量1042億立方、世界の約27%を占めている。日本は35億立方メートル（95年林野庁調査）の蓄積量でブラジルは日本の30倍の蓄積量がある

③樹種 2,000から2,500種類 国際市場で認知 40種類程度

マホガニー、資源枯渇、伐採禁止、PMFS、持続可能森林管理計画 実施

j y a t o b a ジャトバ、

c a r u p i x a

c e d r o

t a u a r i

q u a u b a

v i r o l a 資源枯渇 伐採禁止 PMFS 持続可能資源管理計画 実施

m a s s a r a n d u b a マサランドバ

i p e イペ

2-4アマゾン地域

木材関連業者 6168

丸太生産 2千600万m³ 内95%天然林

違法伐採 89%

合法伐採 11%



Vista aérea da área de exploração

ブラジル物語—5

イペの木

イペと一口に言っても、簡単に括れるほど単純ではない、所謂もどきだらけである。似たものだけの代表的なのは以下の通りだが、これ以外に数え切れぬほどあるといわれている。

1. 品質酷似 cumaru saugua grandio dunas shidoro
2. 価格 angelin
3. 加工性 jotoba、canbara
4. 色 white ipe guariuba



森林管理

当然ながら、持続可能なブラジル政府は森林管理計画を進めており P H F S 国際的には F S C 認証機関の一員となっている。

1. I B A M A プロジェクト (環境・再生可能天然資源院)

大手木材業者を指導し計画的な植林をしているが、大変な手数でメリット？が少ないと聞く
主な仕事は、森林管理伐採、植林、加工、輸送、輸出まで管理 コンテナごとに許可証を発行などを行っている。

2. J I C A の活動

イペ、ユーカリ、チーク、パリカ、マホガニー、バルサ、ビローラ、アンジン、ジャカルーバなど 15 種類の植林の 成長性、土壌、(肥沃度低い赤土対策) 品質などを、指導しながら、天然林との違いなどから、植林の採算化の可能性を探っている。イペでも条件次第で F S C 対象になれる可能性あり (京大木研)

3. 民間活動

イペは 1 %

トメアス地域の日系人小規模植林の実情

ゴムなど早生樹中心の植林

ゴム 75% フレッジョー 10% アンジョローバー 7% マホガニー (モギノ) 3% イペ 1% その他 4%

ブラジル物語—6

原木の生産

イペはブラジルの数ある木のなかで、王様といわれ、トップに位置している。したがって価格は安定し、なかでも良材は売り手市場だ。棲息地は、大アマゾン川流域北部、中西部のジャングルである。

一口に、イペと言っても 20 種類ほどあり、パラ州の呼び名は、pau-darco-emareio 材、eumaru 材と呼ばれているが、一見見分けつかぬほど、酷似している。

原木の搬出

伐採現場からの搬出は困難な作業だ。北米大陸、北欧、ニュージーランドなど植林樹の搬出は、それなりに、搬出用の林道を作っているから、比較的容易である。天然林を伐採し原木を搬出するのは大変な作業だ。伐採地までの機材の搬入に始まり、搬出用林道の整備のためにジャングルを切り開いて、トラックなど輸送用の道路の整備だ。我々は木材を生業としている者にとっても、原木生産に関わる方々のご苦勞を思うと、改めて大切に扱わねばならぬと痛感してる次第である。



搬出 原木

製品 だるま船もどきで河川利用

イペは比重 1.12 全てシンカーのためいかだ流しが出来ない。大部分はトラックによる陸送に頼っている。製材品は河川利用し日本で言うだるま船もどきの船で運ぶ。

アマゾン地域の木材関連業者は 6 1 6 8、

丸太生産 2 千 600 万立方米

内天然林 9 5 %

違法伐採 8 9 %

合法伐採 1 1 %

ブラジル物語—7

工場

原木土場

中径木が多い。土場に山積みされてある。現在の南洋材ラワンなどと似たようなものだ。

製材工場

奥深いジャングルでは、移動製材機で製材し製品で搬出している

この製材機は奥深いジャングルでの作業に適している。丸鋸が縦横2枚ついている、



製品

歩留まり (jica) 情報

伐採 50%

製材 40%

製品 50%最終製品は 原木から10%

長さ 5mトラックの荷台にあわせている。

寸法仕上り厚み 20ミリ 30ミリ 15ミリフローリング用

製材寸法 30ミリ仕上り 42から45ミリ

角材7寸角が一応の限度だ

乾燥工場 大規模工場

デッキ材のヨーロッパ向き フローリング用材のみKD 日本向けデッキ材はAD栈入り
大規模、大容量で上手に乾燥が出来るのか？これでは針葉樹乾燥のやりかただ



8・乾燥工場 大規模工場

デッキ材のヨーロッパ向き フローリング用材のみKD 日本向けデッキ材はAD栈入り
大規模、大容量で上手に乾燥が出来るのか？これでは針葉樹乾燥のやりかただ

ブラジル物語—8

木工工場

フローリング工場 アメリカ、ヨーロッパ向け 15ミリ

特徴 面無し、土足用

①マカニ、ブラジリアンチェリー、イペ、ローズウッド、チェスナット等が主体

②マルフィン（キイ）、ジヤトバ（コイヤイロ）ペロピニア（ウスイヤイロ）クマール（コゲチャ目の細かい）

③塗装 7回

製品 加工前の製材品



倉庫 船積みまでの一時保管する倉庫

中国向け 3m 製品①コンテナに無駄がない②NOグレード最短長さ 1500mmから引き取る

③価格が安くなる



港

木材輸出

アメリカ 28% ヨーロッパ22% カリブ諸国10%中国 5番目

日本 2~3%で8番目

船積み

ビニール梱包はヨーロッパ向きKD製品



ブラジル物語—9

ウッドデッキ—1

細田木材工業では、ブラジルから木の王様イペを直輸入しています。
ウッドデッキの材料として特に厳選し、デッキに適した良材のみを持ってきました。
新木場の倉庫には、多様化したニーズに対応すべく豊富な在庫を揃えております。
また、自社の乾燥工場で、熱処理による樹液のカット、加工工場による特別寸法、特殊加工、
自然塗装など特別仕様のご注文につきましても、お応えいたしております。

在庫



工場



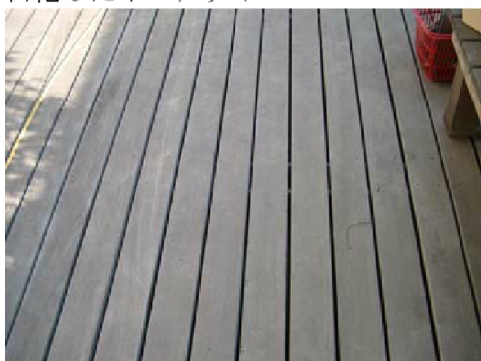
テスト—1

テストは慎重にかつ正確を期して実行している。以下は白化防止の塗料開発のテスト現場



ブラジル物語—10
白化 復元技術実験中
横浜大栈橋
写真 2枚入れる。

白化復元塗料加工
白化したイペデッキ



K邸の白化デッキの復元加工
塗料塗布



加工後ナチュラルカラーに復元した



蘇州散策 1

上海から蘇州へ向かう、蘇州は上海から西へ約100km、高速道路で1時間半の距離だ。

道路沿いの風景は、市街地から一歩外へ出ると、農作地帯が延々と連なり、昔ながらの貧しい農家が点在している。上海市内の繁栄ぶりとは様変わり、貧富の差があまりにも歴然としている。一方このような農村地帯の中に、新しい住宅が群れを成して、ちょっと見はしゃれた雰囲気だ。農家が自力で建てたと聞くが、立派な建物だ。日本の建売風だが、建物の建築費は日本円で¥1,500千、坪約¥400千ほどの計算になる。

農村地帯で成功者としての新しい農家が出てきているところを見ると、ここにも貧富の差が歴然と出てきていると思う、農業の分野まで所得配分のひずみが出てきたのではないか、こんなことが長く続くのか？日本人は所得が平均化しており、国民の生活水準に大きな差はない、中国は、見た範囲では、まるで天と地の違いだ、暴動が起きないのが不思議なくらいだ。

蘇州散策 2

唐の時代に都として栄えたところ、風光明媚、気候温暖、農作物は豊富に収穫、豊かな地として栄えたところ、また絹織物の産地として有名なところだ、蘇州の絹織物は一流品としての評価が高い。

現地ガイド東さんの説明によると

蘇州は人口572万、市街地108万、上海から西へ約100km、長江の南、西には太湖、無錫旅情で有名な無錫市があり、水の都の蘇州市とともに、この三つの地方が集まって、一大文化の中心地として唐代の時代から栄えているところだ。また上海の背景地として、この付近一帯は一大観光地として賑わっているところだ。

明の時代に「糸絹の府」と言われ絹織物の産地として繁栄を極め、美しい風景のなかに書画、芝居、ビワの弾き語りなどが、現在でも受け継がれている。

このような観光地での大きな不満は、ガイドをもっと教育してほしい。自分のペースで喋り捲り 質問する暇もないぐらいに先を急ぐ、時間がないというが、自分たちが早く仕事を終わらせたいために、急いでいるのではないか、難しい専門用語を駆使し、さっぱり理解できない、理解させるためには、事前に資料をわたし、しっかり理解してもらうように事前の準備をして、その上で現場で、しっかり説明すれば、理解できるだろう。旅行観光業者の猛省を望むところだ。

蘇州散策一 3

★寒山寺（ハンシャンスー）に到着

唐の時代の貞観年間（627～649年）に高僧 寒山が住んでいた寺として寒山寺と呼ばれるようになった。現存する建物は清代末に造られた。唐の有名な詩人張 継が詠んだ楓橋夜泊（ほうきょうやはく）で日本人にはおなじみの寺

月落ち烏（からす）啼いて霜（しも）天に満つ
江楓漁火愁眠（こうふうぎょかしゅうみん）に対す
姑蘇城外（こそじょうがい） 寒山寺
夜半の鐘の声客船に至る
大殿の右側には日本から寄贈された鐘がかかっている。

★ 拙政園 せつせいえん（せつえいえん）もと詩人 陸龜蒙の住居だったが、明代 正徳年間（1506年～1521年）に 王献臣という退官役人が買い取り造園芸術の傑作といわれる庭園に造り替えた。大湖、築山、流れる水をイメージしたものだ。

拙政園の由来は、「愚かなるものの為せる政治」からともいわれている。500年先の、どこかの国の政治を予見されていたような思いだ。拙政園とはよく言ったものだ。なにごとく愚かものが政治、行政を司れば国は滅びる。愚か者はた退場し、賢いものが政治を司ってもらいたいものだ。

蘇州—4

★遠香堂

応接間に使われていた、内部の家具は明代500年前のものといわれ、紫檀黒檀を豊富に使ったテーブルやいす、鏡台などがおかれている。少々の狂いは見られるが、びくともしていない、やはり木材は、素晴らしい素材だ。50年の年月物ともせず、歴史とともに歩んでいる。木材に勝る素材はない、名所旧跡のガイドブック、説明書、各資料などにはもちろんのこと、観光地のガイドもマニュアルを整備し、しっかり教育して、観光現場で、この場所で、500年前の紫檀黒檀の家具を目の前にして、木材の500年たってもびくともしない耐久性で、年月を経ればへるほど、美しさがましてくる木材の素晴らしさ、ほかの資材にない木材の長所を、観光地の歴史とともに説明すべきではないか、常々考えてはいたが中国江南地方随一の庭園拙政園にて確認した次第である。木材やさんよ、眼を開こう、木材のよさ、素晴らしさをPRする場所はどこにでもあり、もっと元気を出せばまだまだいくらでもあるのではないか、

★北寺塔（ほくじとう）

レンガと木造8角7層、高さ76m上までのぼれる。そりあがったひさしが美しく江南第一の塔といわれている。南宋年間（1131～1162）に再建されたもの。約900年前に、レンガとの組み合わせで、木造の高さ76mの建物を建てた技術は素晴らしいものだ。しかも複雑な8角7層の木造建築物、その上まで上れる。最上階まで上れるとは、地震がない国とはいえ素晴らしい技術だ。尚参考のために日本での歴史に残る五重塔の高さは平安時代京都に白河の法勝寺の八角九重の塔、永保3年（1083）に建立され、康永元年（1343）3月20日に火事で焼け落ちたとされる。この塔の高さ27丈（81メートル）、東大寺七重の塔32丈（96メートル）現存する塔は東寺五重塔基壇の一辺が18メートル、高さが約54メートルのものが現存している。ここでも木造の素晴らしさ木の持つ耐久性、古くなればなるほど強度が増し、美しさが輝いてくる木材の持つ素晴らしい特性を生かした建築物が、約1000年にわたって現存ししかも十分な使用に耐えられるものだ、もっと元気をだして木材のよさを、木材やが、PRすべきである。

蘇州—5

土産もの売りのおばさんに教わる

蘇州に到着、バスから降りたとたん 物売りにかこまれた。声を枯らしての売込みには辟易する。熱心さが華僑の精神、千里の波濤を乗り越えて、新しい世界を求めて雄飛する中国 華僑の精神を垣間見た 思いだ。この熱心さがすべての基本だ。いまの日本人にこれほどの熱心さがあるのか、3日働いて一日休む、不況を打ち破るために何故もっと働かないのか、

中国人なみの熱心さで、仕事に打ち込めば必ず道は開けるものと信じている。中国まできて蘇州の物売りのおばさんから商売人の根性を教えられた思いだ。華僑から大人物が多く出ている、この素地は、勤勉さ、熱心さに他ならない、日本人はもっとしっかりせねばならない、一昔まえには、松下幸之助、本田宗一郎など大人物が輩出していたが、現在は残念ながら、彼らに匹敵する大人物は日本に見当たらない、これも日本人が戦後の教育による平和ボケ、勤勉さを忘れた怠惰な精神、なんでもほしいものは、手に入るものあまりの世界、小さな幸せに満足し自分さえよければと行き過ぎた個人主義、便利さになれた日本人、これでいいのだろうか？ハングリー精神が必要なのではないか？

蘇州—6

果物市場、日本で言えば卸売り市場だ、産地から集められた果物は、ここで小売商人に売り渡されている。この建物などは、察するに日本で言う市場会社の経営ではないか？

場所代、販売手数料などを徴収するのか判然としないが、この辺が中国の言う「社会主義市場経済」がどのように機能しているのか？あるいは政府というか行政の介入で、まったく機能していないのか？しかしこの繁盛ぶり、真剣なやり取り、人々の活気、あふれるような活力、などまったく資本主義自由経済そのままと感じた。発展する中国経済の源、底流に流れるものを探ることができるのではないか、ヤッチャバに限らず、たとえば、我々に関係のある建築材市場などの流通機構など、機会を見つけて是非調査する必要があると感じた次第だ、ヤッチャバの調査に通訳を同行させていれば、すこしでもこの流通機構についてのリサーチができたが、惜しい機会を逃した。早朝5時、蘇州のヤチャバでの思いだ惜しいことをしたが、次回に譲る事にする。見た限りではもはや、経済に限り共産党一党支配の全体主義、計画経済、社会主義経済体制は機能せず、トショウヘイの1979年社会主義市場経済宣言から、四分の一世紀を経た今の中国経済で定着したのではないか、

資本主義経済の流れができあがったのではないか、

蘇州のヤッチャバでは、このような小売商人がリヤカーを引いて市場に仕入れに来て夜が明けるまで、路上で宿泊、市場が開けば起きだして、好みの果物を買込み、これまた好みの街角へ散っていく、昼間は街角で店を広げるいわば大道商人だ、夜はその場で路上宿泊、こんな経済的な合理的な商売はない、ただし路上宿泊さえ気にしなければの話だが、ここまでしても「商いをする」中国人の熱心さ、粘り強さ、路上宿泊も厭わぬハングリー精神、ここに世界に雄飛する中国華僑の原点がある、こんな華僑商人のなかから、大金持ちの成功者、世界的な大人物が生まれた背景だ、路上宿泊の大道商人から教えられた思いだ、